

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 令和6年能登半島地震 への支援について	(1) 令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震では、住宅の倒壊など甚大な被害が発生しました。本町では1月9日に職員を派遣するなど支援が行われてきましたが、これまでの被災地支援の取組について伺います。
	(2) 本町もいたる所に募金箱が設置され、町民が被災地へ心を寄せ支援の輪が広がっています。東日本大震災から復興へと歩みを進めてきた本町だからこそ、力になれる部分があります。今後、どのような支援を行なっていくことが重要と考えるか、町長の見解を伺います。
	(3) 防災ハザードマップの更新や備蓄品の見直しも指摘されています。防災や減災の取組に限界はありません。本町としても令和6年能登半島地震を教訓にして、今一度災害に対する備えを確認しなければいけません。
	防災対策について強化すべき点について見解を伺います。
	(質問の相手：町長・担当課長)

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 町政100周年事業について	本町は、令和8年4月1日に町政施行100年の
	大きな節目を迎えます。1世紀に一度しか訪れる
	ことがないこの時は、これまで町を築いてきた先
	人達を敬い、本町の発展に貢献してきた全ての方
	に感謝を示し、皆で祝う機会ではないでしょうか。
	そして、「ふるさと女川」への愛着や誇りを高め
	ながら、新たな100年へと町政を推進していく好
	機と考えます。
	(1) 町政100周年事業に向けての町長の意気込み
	について伺います。
	(2) 今後、事業実施に向けて方針や体制等の骨子
	作りから、具体的な企画立案や準備といった各
	段階を踏み進んでいくと思いますが、どのよう
	なスケジュール感で進めていくのか伺います。
	(3) 事業の機運を醸成するには町民や関係者が関
	わりたいと思う仕掛けが重要と考えます。事業
	公募等で参画意識を高めることや、町民の関心
	の高いペタンクやグラウンドゴルフ等の記念大
	会の実施も事業の推進につながると考えますが
	主体的な関わりを促す取組について伺います。
	(質問の相手：町長・担当課長)